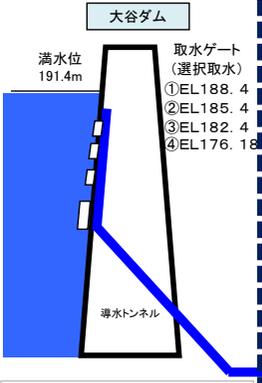
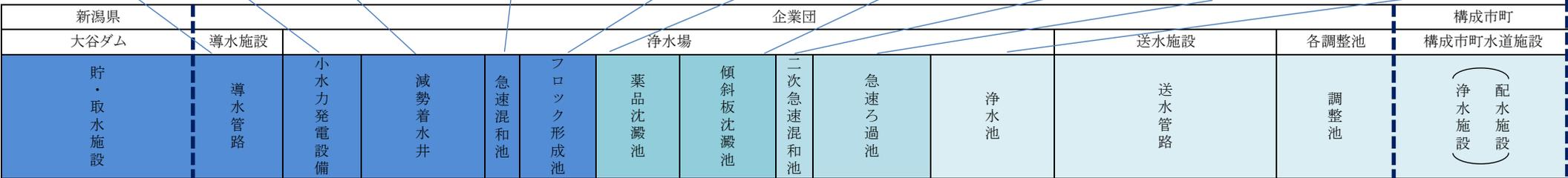


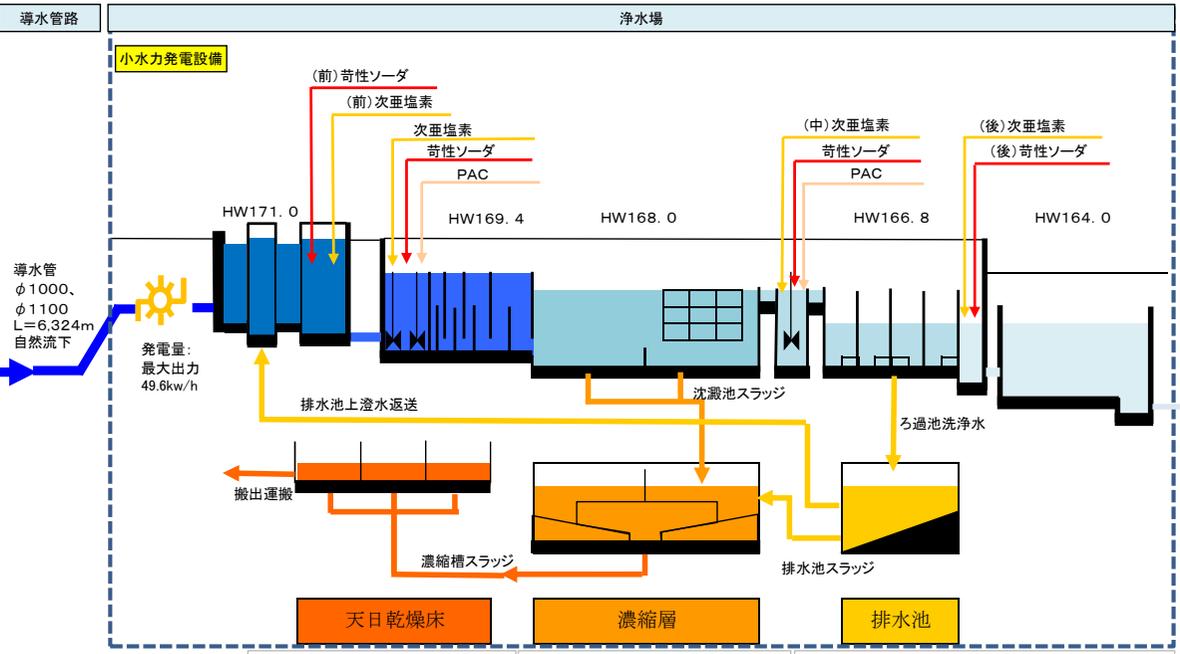
# 飲水ができるまで

<b>導水管路</b> (どうすいかんろ) 大谷ダムから取水した水を6,324m下流の浄水場着水井へ自然流下方式にて導水します。	<b>小水力発電設備</b> 大谷ダムから水の流れ落ちるエネルギーを利用して、水車を回して発電機で発電します。	<b>減勢着水井</b> (げんせいちゃくすい) 取水口から水が自然の流れによって最初に浄水場に到達する場所です。ここでは、取水口と浄水場に高低差があるため、水の流れが速く、その速度を弱めます。水に薬品(アルカリ剤: 苛性ソーダ)を入れます。	<b>急速混和池</b> (きゅうそくこんわち) 水に薬品(凝集剤: PAC)を入れてかきまぜ、水の中のごよれが、かたまり(フロック)になります。	<b>フロック形成池</b> 水の中のフロックとフロックが、くっついてどんどん大きく成長します。	<b>薬品沈澱池</b> (やくひんちんでんち) 水の中で大きくなったフロックが、ゆっくりとこの池をながれていく間に池の底に沈んでいきます。	<b>傾斜板池</b> (けいしゃばんちんでんち) 薬品沈澱池で、沈まなかった軽いフロックを、傾斜板により取り除きます。	<b>二次急速混和池</b> (にじきゅうそくこんわち) 水に薬品(消毒剤: 次亜塩素)を入れてかきまぜます。	<b>急速ろ過池</b> 沈澱池を通ってきた上のきれいな水は、特別に調整した砂によって小さなフロックをろ過してきれいな水に仕上げます。ろ過でつまった池を洗う装置もついています。ろ過後に水に薬品(消毒剤: 次亜塩素とアルカリ剤: 苛性ソーダ)をいれています。	<b>浄水池</b> この池では、最終的に塩素とアルカリの調整をした飲水水を貯めておきます。一日最大供給量の6時間分の貯水があります。
--	--	---	---	---	--	--	---	---	--



**大谷ダム**  
洪水のための調節や水を貯めておく中央しゃ水壁式ロックフィルタイプのダムです。  
水道用利水容量 2,700,000m<sup>3</sup>  
(1日最大取水量の40日分)

**取水口**  
水位及び水質を確保し安定した水を得るために、ダム貯水池の右岸に取水ゲートを設け、4つの門により水質の最も良い水を取ります。



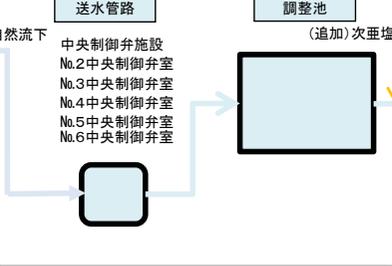
**天日乾燥床**  
(てんぴかんそうしょう)  
濃縮槽にたまったよごれ(スラッジ)を乾燥させます。

**濃縮槽**  
(のうしゅくそう)  
薬品・傾斜板沈澱池や排水池の底にたまったよごれ(スラッジ)をためます。

**排水池**  
(はいすいち)  
ろ過池を洗った水をため、きれいな水とよごれ(スラッジ)を沈めてわけます。きれいな水は着水井へかえます。

**調整池(ちょうせいち) 10箇所**  
市や町の給水区域の高台に設置され、浄水場からの送水量と供給量の調整を図る機能を持ち、不測の事態に備え一日最大供給量の10時間分の貯水があります。浄水場(中央監視室)で集中管理されています。

- ◎三條市 三條橋山 三條飯田 三條柳沢 三條吉田 三條吉野屋 三條大面
- ◎加茂市 加茂矢立 加茂都ヶ丘
- ◎田上町 田上吉田新田 田上観音山



**送水管路**  
延長61,781mに口径1100mm~150mm、最高静水圧約1.6MPaの管路には中央制御弁施設(5か所)を設け流量制御弁や緊急遮断弁を浄水場(中央監視室)で集中管理しています。

